

令和7年度岡崎市健全化判断比率審査意見

第1 審査の種類

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づき審査に付された岡崎市監査基準第4条第1項第8号の規定による審査

第2 審査の対象

令和7年度岡崎市決算に係る健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

第3 審査の期間

令和8年7月21日から同年8月24日まで

第4 審査の着眼点

比率の算定基礎となった書類等が関係法令に準拠して作成され、その算定過程は適正か等を審査した。

第5 審査の実施内容

岡崎市監査基準の規定に基づき、市長から送付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について計数の照合を行い、併せて関係職員の説明を聴取して審査を実施した。

第6 審査の結果

審査に付された下記、健全化判断比率の算定及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも関係法令に準拠しており、適正なものであると認められた。

記

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (11.25)	— (16.25)	1.8 (25.0)	— (350.0)

(注) 括弧内の数値は、早期健全化基準である。